

電氣的除細動治療説明書

1. 病名、病状

頻脈性不整脈(心房細動、心房粗動、発作性上室性頻拍症、心室頻拍、心室細動)

2. 治療名とその内容(治療予定日 平成 年 月 日)

電氣的除細動：体外から心臓に電気を流すことにより不整脈を停止させる方法。

3. 麻酔の方法・内容(全身麻酔・腰椎麻酔・硬膜外麻酔・局所麻酔・その他)

全身麻酔で行います。治療前に経食道心エコー図を行うことがあります。

4. 治療の必要性と、治療をしない時の経過予想

不整脈が持続することによる動悸、呼吸苦、倦怠感などの症状が改善しないだけでなく、不整脈の種類によっては血栓症(脳梗塞など)、血圧低下、心不全、意識消失、突然死を発症することがあります。

5. 他の治療方法との比較、その利点と危険性

薬物療法：効果出現までに時間がかかり、また効果は一定ではなく、薬物による副作用を生じることがあります。

6. 治療自体の危険性及び考えられる合併症

火傷、麻酔による副作用(アレルギー)、除脈性不整脈の顕在化、血栓症(脳梗塞など)、不整脈など

7. 予後(経過予想)及び考えられる後遺症

必ずしも不整脈が停止するとは限りません。また一度停止しても再発する場合があります。

8. 通常は発生しないが起こり得る重大な危険性

ショック、心停止

9. その他